

中学校学習活動案④「秋ギクを栽培して地域社会へ貢献しよう」

対象学年	中学 3 年	総時数	70 時間	週時程年間固定型	2 時間の実施
------	--------	-----	-------	----------	---------

この学習活動案は、秋ギクの栽培を通じて、体験的・問題解決的な学習活動を展開するとともに、地域行事等に積極的に参加することにより郷土を理解し、地域社会に貢献しようとする態度を育成するものです。

1 年間の計画（合計 70 時間）

□：外部講師による指導

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学 習 内 容	テーマを設定しよう ガイダンス	キクの歴史や特性等について調べよう①	知ろう（講演会） キクへの思いを □	栽培技術を学ぼう① □	地域社会への貢献について調べよう②	栽培技術を学ぼう② □	地域社会へ貢献しよう	成果をまとめよう	発表会の準備をしよう	発表会を実施しよう	
栽培体験	秋ギクの栽培（3本仕立て） さし芽 鉢上げ 摘心 摘芽 摘らい 開花 来年度の株の養成 鉢替え 輪台付け										
時数	4	8	8	6	8	8	8	10	6	4	

2 ねらい

- （1）学習課題に即した調べ学習や栽培体験活動及び外部講師による実技講習等を通じて、課題解決の能力や問題解決に主体的に取り組む態度を育てます。
- （2）自分たちの住む地域に関心をもち、地域社会の一員である自覚と地域貢献に取り組む態度を育てます。
- （3）自分たちの興味・関心に基づく学習課題を設定し、計画的に栽培活動に取り組むとともに、地域の方々とのふれ合いを通じて自己の生き方を考えることができるようになります。
- （4）キク作りをとおして、自然に親しみ、物を大切に作る心を育てます。

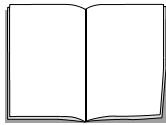
3 教科との関連

- （1）国語〔第3学年〕 → 話す・聞く・読むこと、古典についての学習等
- （2）理科〔第2分野〕 → 植物の生活と種類
- （3）社会〔地理的分野〕 → 地域の規模に応じた調査
- （4）技術家庭科〔技術分野〕 → 技術とものづくり、情報とコンピュータ
- （5）道徳 → 集団や社会との関わり
- （6）特別活動〔学級活動〕 → 将来の生き方と進路の適切な選択

4 実施上の留意点

- （1）地域でキク作りをされている名人の方を講師に招き、「キク作りの基本」について実技指導を受けるとともに、栽培のノウハウを学びます。
- （2）調べ学習では、各自が必要に応じて現地を訪問できるよう配慮するとともに、対外的な手続きや十分な事前指導を行います。

5 展開

	主 な 活 動	留 意 事 項
1 学 期	(1) ガイダンス・テーマの設定 ・各自のテーマに基づき、1年間の活動計画を作成する。 (2) 調べ学習① ・キクの歴史や特性、育て方等について調べる。 ・キクの利用(料理・草木染め等)について調べる。 ・キクの仲間である県内の特産物について調べる。 (例) 紅花など (3) 栽培体験活動(秋ギクの3本仕立て) (5月～1月) ・日常の栽培管理を計画的に行う。 ・成長過程の観察、記録を行う。 ・夏季休業中の水やり体制に配慮する。 (4) 講演会 テーマ 「キク作りと人生について」 (5) 外部講師による実技講習会①② ・キク作りのスポット指導を受ける。 [さし芽、摘心、摘芽、摘らい、輪台付け等]	○年間活動計画に沿って、課題意識を持って取り組ませるようにする。 ○図書室やインターネットを利用させ情報等を収集させる。 ○技術家庭科との関係に留意する。 ○キク科に属する郷土の特産物や調理についても学ばせる。 ○観察ノート等を利用し、活動記録をとり、考察できるようにする。 ○生育ステージに応じた栽培管理を、責任を持って行わせる。 ○キク作りの名人による講演を通して、キクへの情熱と人間としての「在り方生き方」にふれさせる。 ○栽培技術の習得により、課題解決への意欲の高揚を図る。 ○技術家庭科との関係に留意する。
2 学 期	(6) 調べ学習② ・開花したキクを活用した地域社会への貢献について調べる。 ・キクを詠んだ俳句、短歌について調べる。  (7) 地域社会への貢献(キクの鑑賞会) ・キクを地域の公共機関に展示する。 ・キクを地域の菊花展や文化祭に出品する。 ・校内でも菊花展を行い、楽しく鑑賞する。 ※育てたキクを鑑賞し、自分の思いや考えを短歌や俳句に表現させる。	○生徒の発想を大切に、どのように地域に貢献できるかまとめさせる。 ○国語、社会、技術家庭科との関係に留意する。  ○地域社会への貢献により、キク作りの意義を再考させる。 ○多くの人に鑑賞していただき、キク作りの喜びを味わわせる。 ○キクに関する短歌や俳句を鑑賞させ、文学の楽しさを気付かせる。
3 学 期	(8) 発表準備 ・1年間の学習活動の成果をまとめ、発表会の準備をする。 (9) 発表会 ・指導いただいた講師の方及び保護者を招き、1年間の学習の成果を発表する。	○発表者の創意・工夫による適切なプレゼンテーション能力について考えさせる。 ○聞く側の関心や意欲に配慮し、意見交換をさせる。 ○発表者の創意・工夫によりプレゼンテーション能力を身に付けさせる。 ○今までの学習活動を自己評価させる。 ○新たな課題を発見させる。

6 参考資料

(1) キクのプロフィール

学 名: *Chrysanthemum morifolium* Ram. 英 名: *Chrysanthemum*

科 名：キク科 原産地：中国を中心とした東アジア

伝 来：天平時代

(2) 栽培曆

時 期	1 学 期												2 学 期												3 学 期		
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月～3月		
月 旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
作業 区分	●~~~~○×~~~~□~~~~~□□ さし芽 鉢上げ 摘心 鉢替え 支柱立て 摘らい 開花 柳芽の処理 輪台つけ																								株の養成		
キクの一生	さし芽の発根 苗成長 側芽の成長 花芽分化 つぼみ出現 つぼみ成長 																										

(3) キクの語源

- ・「キク」は漢名の「菊」を音読みにしたものです。また、「菊」の漢字は、散らばった米を1ヶ所に集める、の意で、菊の花卉を米に見立てたものです。漢名の「菊」は”究極、最終”を意味し、1年の終わりに咲くことから名づけられたのです。
- ・キクはバラとならんで最も歴史の古い植物で、4000年前からありました。もともと薬用植物として中国から伝来し、不老長寿の薬でした。天平時代から10月10日の重陽の節句には菊の品評会が行われ、日本におけるフラワー・ショーの始まりといえます。また、キクは食用として広く利用されています。

(4) キクの栽培

キクの生育、開花は日長と温度によって大きく反応する性質があります。この反応を利用して、夏の長日の時期には日長を制限し、短日条件にすることによって、花芽をつけさせ切り花栽培をしています(シェード栽培)。一方、冬の短日低温条件では、キクは短い茎で花芽が着いたり、生育を停止したりします。そこで、キクの茎をある程度の長さには伸ばすために電灯をつけ、長日にし、温度を高く保つ(15℃)ことによって切り花栽培をしています。(電照栽培) このようにキクの日長、温度の生態反応を利用することで、一年中キクの切り花栽培が行われています。

(5) 俳句・短歌の鑑賞（キクを題材）

「心あてに 折らばや折らむ 初霜の 置きまどはせる 白菊の花」

古今集 百人一首（おおしこうちのみつね）

「父母が 殿の後方の（しりへ）の 百代草（ももよぐさ）

百代いでませ わが来るまで」(百代草＝菊)

万葉集古（いくたまべのたりくに）



(6) キクの食用

- ・食用のキクは、葉や花を料理用としています。
 ※芭蕉の句からも、古くから食べられていたことが分かる。
 「蝶もきて 吸う菊の 酢和へかな」(芭蕉)

(7) キクの仲間：紅花（本県桶川市の特産物）

キク科の一年草。アザミに似たとげのある葉。発芽と同時に色素を体内で合成し葉や幹に蓄積します。夏に黄色の（橙黄色）の花が咲き、花を摘んで赤色色素をとり、昔は口紅としました。種は、白く長さ6mmの楕円形、やや堅い殻に包まれています。種の中の胚に油があり、しばってサフラワー油をとります。食用のサラダ油としてすぐれていて、高血圧に効きます。根はゴボウのように直根で、葉にはとげがあります。

紅花は、花を使っての「紅花染め」、切り花、ドライフラワーとしても楽しめます。